

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 室外ユニット仕様書 (シリアルR2 GR)						
形名	PURY-P335DMG4-BSG (高顕熱比冷房仕様)		台数		記号	
電 源			冷 房		暖 房	
			三相 200V 50Hz			
能力	条件	室内側 乾球温度 / 湿球温度	33.5		37.5	
		室外側 乾球温度 / 湿球温度	27 / 19		20 / -	
低温能力 (外気乾球温度2℃, 湿球温度1℃)			kW		28.8	
電気特性	高顕熱比冷房運転能力		kW		20.3	
	定格消費電力		kW		11.35	
	低温消費電力		kW		-	
	高顕熱比冷房運転消費電力		kW		4.66	
	運転電流		A		36.40	
	力率		%		90	
始動電流			A		15	
運 転 音			dB		85	
送風機	形式 × 個数		J型ラファン×1			
	風 量		m³/min			230
	電動機出力		kW			0.92
圧縮機	形 式		全密閉形			
	電動機出力		kW			7.4
	法定冷凍トン					4.93
冷媒 / 冷凍機油			R410A / エステル油			
外 装			溶融亜鉛メッキ鋼板 (表面処理:ホウロウ樹脂、色:マンセル 5Y 8/1)			
外形寸法 (H×W×D)			mm			1650×1220×740
熱交換器形式			クロスフィンチューブ			
保護装置	高圧保護		圧力センサ、圧力開閉器 (4.15MPa)			
	圧縮機 / 送風機		過電流保護、過昇保護 / 温度開閉器			
	インバータ		過電流保護、過昇保護			
冷媒配管サイズ 高圧 / 低圧			mm			φ19.05ろう付 / φ22.2ろう付
室内ユニット接続			総容量	室外ユニット容量の50~150%まで (室外上かつ外機~内機の高低差が50mを超える場合: 室外ユニット容量の50~100%)		
			能力 / 台数	P22~P280 / 1~22		
質 量			kg			251
配管長制限	配管長	外機~内機	m			実長 165 / 相当長 190
		外機~分コ	m			最大総実長 300 (室外ユニット~分コ間配管長10m以下の時550)
		分コ~内機	m			110 以下
	高低差	外機~内機	m			40 (分コ~室内ユニット間高低差0mの時60)
		内機~内機	m			室外ユニット下の時60、室外ユニット上の時90
		分コ~内機	m			30 (室内ユニットがP224形以上の時は10) 15 (室内ユニットがP224形以上の時は10)
機外配線要領	最小電源太さ	mm²		22		
	配線用遮断器	A		60		
	漏電遮断器	配線要領は内線規程により 60A 100mA 0.1sec以下				
	アース線	mm²		5.5以上		
伝送線制限	伝送線	mm²		1.25以上 (シールド線 CVVS, CPEVS, MVVS)		
	配線総延長	m		1000以内		
	最遠配線長	m		200以内		
	リモコン配線 (MAリモコン時)	m		最大200 (0.3~1.25mm²ケーブル使用時)		
使用温度範囲	冷房室内湿球温度	℃		15~24		
	冷房室外乾球温度	℃		-5~43		
	暖房室内乾球温度	℃		15~27 <天井機種は32>		
	暖房室外湿球温度	℃		-20~15.5 (室外上かつ外機~内機の高低差が50mを超える場合: -10~15.5)		
別売部品			アケイプフィルタ、圧力計、集中ドレンパン、伝送線用給電拡張ユニット			
付 属 品						
特記事項、標準外仕様等			耐重塩害仕様、高顕熱比冷房仕様			
注 意 事 項	1. 冷暖房能力はJIS B 8615-1条件で運転した場合の最大能力です。					
	2. 実際の能力特性は内・外ユニットの組合せにより変わりますので、技術資料をご覧ください。					
	3. 高顕熱比冷房運転能力は、室外空気乾球温度35℃、及び室内乾球温度27℃、湿球温度19℃で全冷房運転モードにて運転した場合の最大冷房全熱能力です。実際の能力特性、及び冷房顕熱能力特性は室内ユニットの組み合わせにより変わりますので、技術資料をご覧ください。					
	4. 運転音は無響音室での値です。(騒音計 A特性値)					
	5. 接続リモコンの種類及び室内ユニットの接続台数によっては伝送線用給電拡張ユニット (別売)が必要となります。					
	6. 現地配管接続時の管継ぎ手の要否については室外ユニット外形図 (図番WKS94L842)をご参照ください。					
	7. 現地配管の断熱工事は、掘付説明書に従って実施してください。					
	8. 室外使用温度範囲は接続室内ユニット容量、または室内ユニットとの位置関係で異なる場合があります。					
	9. 本製品を長く安心してお使い頂く為には定期的な保守・点検が必要です。各部品の点検、保全周期については日本冷凍空調工業会発行の「ガイドライン」を参考にしてください。					
	10. 高顕熱比冷房運転を行う場合は、高顕熱比冷房仕様分流コントローラを使用し、暖房主体運転時に高顕熱比冷房運転を行う室内ユニットには高顕熱合流管キットの接続が必要です。					

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 室外ユニット仕様書		形名	PURY-P335DMG4-BSG (高顕熱比冷房仕様)		
三菱電機株式会社		16-05-11	仕様書番号	WYNG2-2136-5	